

皆様の笑顔と幸せのために 喜んで働きます!

日頃よりご支援いただきありがとうございます。
市政報告をお送りいたします。



皆様の笑顔と幸せのために喜んで働く、会派『喜働（きどう）』からの便りです。会派を発足してから3年が経ち、この新聞も1年ぶりの発刊となりました。ご一読いただき、会派の活動にご理解いただければ幸いです。先日、会派「喜働」で福井市と魚津市へ視察に行き、福井市では『景観基本計画と景観支援制度について』、魚津市では『市民バス運行事業について』をテーマに学んできました。6月議会で早速、視察内容を踏まえた質問をさせていただきました。これからも名張を安心安全で住みよい街にするために、皆様の声を聴きながら、しっかりと活動してまいります。

市政報告



市長選挙との同時選挙

昨年10月議長選挙にあたって、福田議長候補は本年4月の市長選挙の前に市議会を解散し、市長選挙と市議会議員選挙を同日実施することを公約に掲げ、議長に当選しました。議会報告会でも多くの市民の方から同日選挙を望む声を聞かせて頂きました。会派『喜働』は市民の声を大切に、市民目線で議会解散に賛成。議会解散を実行し同日選挙になれば、選挙費用と議員報酬・賞与など含め、約3千万円の節約にもなります。

しかし残念ながら反対の議員が出席議員の5分の1以上いたため解散は叶いませんでした。来期に繋げて実現出来るように、全力で取り組みます。

定数削減

名張市では、平成14年に財政非常事態宣言が発令されました。以来16年が経過しましたが未だ財政は逼迫しています。市民負担を求め、固定資産税の独自課税を平成28年度に導入したにも関わらず、未だ財政非常事態宣言は解除されていません。そんな中、3月議会で議員定数を2名削減する提案がされました。もちろん、会派『喜働』も賛成でしたが、2分の1以上の反対で否決されてしまいました。

議員定数の20名は、全国平均と比べると多くはありませんが、住民に対する議会費の割合は全国平均より高い額であること、18名に削減すれば全国平均以下になることから、有志議員を募り再度6月議会で提案した結果、議員定数2名削減、定員18名が実現しました。

これに満足することなく、会派“喜働”は、さらなる議会改革に取り組みます。

第380回定例会（2018年6月議会）

応急手当て講習等の実績と内容

6月9日～6月27日開会
本会議・一般質問より

現状

毎年、2000人以上の市民の方が救命講習などを受講されています。

Q.応急手当普及啓発活動の実績とそれぞれの講習の内容を教えて下さい。

A.平成29年中の受講状況は、救命入門コース45分と90分（心肺蘇生、AED使用）905名、普通救命講習180分（救命入門コースの内容と異物除去、大出血時の止血方法など）742名、上級救命講習480分（普通救命講習の内容と傷病者管理法、熱傷の手当て、搬送法など）30名、その他の講習（救命入門コースの他、やけど、ケガ、骨折などの応急手当。依頼者の要請により実施。）1694名。

要望事項

身近な応急手当講習も要請があれば実施していることを広報やホームページなどで多くの方に伝えたい。子育て世代の受講の際には、託児を準備していただきたい。



公共交通のハブとしての「まちの駅」の活用と物産振興

現状

平成24年8月6日にオープンした「とれたて名張交流館(以後、とれなば)」では地元の物産を中心に、野菜、漬け物などの加工品、パン、お菓子、地酒、工芸品などが販売されています。他の市町(埼玉県小鹿野町、群馬県下仁田町)では、道の駅を、公共交通の結束点(ハブ的)として利用しているようです。

Q.名張市もコミュニティバスが6台走っています。「まちの駅」などをハブにすることで、公共交通が充実し、「とれなば」の物産販売に繋がるのではないかでしょうか?



A.現在、「ナッキー号」と「ほっとバス錦」が乗り入れており、一定の乗り継ぎは可能です。全てのコミュニティバスが乗り入れる環境を整えることは課題も多くありますが、今後、健康増進や余暇活動、観光交流に関する需要への対応として情報提供・発信のハブとしての役割は期待できます。とれたて名張交流館との連携した乗り継ぎ環境の向上に努めたい。

要望事項

名張市は近隣市町より2年早く高齢化を向えます。「ナッキー号」及び「ほっとバス錦」を除き、桔梗が丘駅を含めての巡回ルートとなっています。「とれなば」や「桔梗が丘駅」をハブとしてコミュニティバスが連結出来るように整えていただき、一刻も早く公共交通での移動手段を確保するよう努めていただきたい。

歴史的な建物やまち並みの保存と活用

現状

市内の登録有形文化財を始め、歴史や文化に彩られたまち並みは豊かな心を育み、その特性を生かした魅力的なまちづくりの大切な資源です。先般、一般社団法人三重県建築士会が市内に所在する登録有形文化財のうち11件13種のトレーディングカードを作成。市教育委員会がこれらを有効に活用できるように寄託をされ、多くの方がその建造物を訪れる仕組みが構築されました。

Q.観光や産業振興の観点から、市内の歴史的な建物やまち並みの保存・活用について、今後、どのように取り組まれますか?

A.良好な景観を守り育てるためのルールづくりとして、景観法に基づく景観計画の策定などで、まちづくりを進めています。多様な主体が協働・連携しながら、四季を通じて変化に富んだ自然景観、観光や産業振興の側面から見たにぎわいの景観、暮らしのまちとしての質の高い景観など、次世代に誇りと愛着を持って引き継ぐことができるよう、移住・定住の促進にも繋げていきます。

要望事項

名張市は、学校周辺や住宅専用地域での営業制限の除外が県内で初めて認められ「民泊」を中心市街地でも実施できるようになります。訪日外国人観光客(インバウンド)の受け皿として、このチャンスを活かして、歴史的な建物やまち並みを維持しつつ、更に活用もしていただきたい。



会派「喜勵(きどう)」の今後の取り組み

川合 滋 定立 よしえ

- ◆ 命を守る救急医療の充実と在宅診療、在宅介護との連携
- ◆ 公共交通の充実と移住定住の推進(空き家活用、景観維持)
- ◆ 財源確保のための経済活性化(地場産業、農業、商業、観光振興)
- ◆ 教育環境の充実(施設整備、国際社会で活躍できる人材育成)
- ◆ 健康によるまちおこし(医食同源、アレルギー予防と対策、スポーツ振興)
- ◆ 豊かな自然、文化や歴史の継承(観光資源発掘、インバウンド対策)

皆様からのご意見、
ご要望をお待ちしています。

発 行：会派「喜勵(きどう)」
住 所：名張市鴻之台1番町1番地
電話番号：090-3564-5380(川合滋 直通)
：090-7898-9453(定立よしえ 直通)
ホームページ：<http://www.adachiyoshie.jp>